

100億宣言



創業明治36年
相原興業株式会社

120TH AIHARA
ANNIVERSARY



【セルフガソリンスタンド】
街のよろずや基地 apollostation

- 本社所在地：
神奈川県小田原市扇町4丁目7番30号
- 事業概要：
 - ・ガソリンスタンド運営
 - ・自動車関連サービス(車検・整備等)
 - ・保険販売業務(自動車・火災等)
- 常時使用する従業員：63名（2025年3月期）
- 現在の売上高：68億円（2025年3月期）
- 法人番号：6021001032248
- Web：
<https://www.aiharakogyo.com/>

相原興業株式会社（卸売業・小売業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
相原 孝光

『日常と地域をつなぐ、新しい暮らしの拠点作り』

相原興業は122年間、小田原の地で暮らしを支える企業として、燃料・物流・保険・水・電力など「地域の暮らしを支える企業」として進化してきました。

次のステージでは、皆に愛され、地域とともに成長する為の取り組みとして、地域の人々にとって重要であり、暮らしの延長にある“クルマ”を、日常に寄り添い、長く大切にできるように整えるサービス拠点を整備し、さらにはその拠点を地域と人をつなぐ地域共生の重要な接点として発展させていくことで、企業成長を実現します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年の売上達成に向け、現業である卸売業・小売業に加え、新たな成長施策により、年平均成長率約9%を目指す。



課題

- ・施工品質を安定して提供できる人材の確保と育成
- ・地域事業者（商店・農家・サービス業など）との“共創的連携”の仕組みづくりの整備
- ・行政・地元団体との連携による実行スピードの確保と事業展開に向けた持続的協力関係の構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ① 暮らしを支える“クルマ”ケア拠点
 - ・地域の人々が安心して通える、清潔で使いやすいケア拠点を整備し、短時間・高品質な洗車や保護施工など、車体を快適・安全に整えるサービスを提供
- ② 暮らしを見直し提案拠点
 - ・地域密着型の暮らしのサポート窓口を併設し、車の来訪時に、生活インフラの見直しや提案をワンストップで提供
- ③ 地域と暮らしを結ぶ拠点
 - ・車を預けた“ついで時間”に、地域の人・モノ・情報と自然につながる体験や地元食材、地域サービスと出会う場を提供

実施体制

- ①「新規開拓部」を事業統括組織として再編し、各成長手段の導入・展開・評価を担う専門部門を設置
- ②既存の保険・水・電力・LPなどの各事業を横断的に再編し、“くらしサポート課（仮称）”を新設。生活インフラの見直し提案を一元的に担う専門部門として体制化
- ③地元事業者や行政などとの連携を推進するため、「地域共創室（仮称）」を新設。拠点と地域社会を結ぶ接点の中核部門として、連携施策・地域イベント・情報発信・協業開発などを担当

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

相原興業が目指す『エネルギートータライザー』の未来

相原興業のビジョン「人に愛され、地域とともに成長し、夢を叶える企業」の達成に向け、
地域の豊かな暮らしをサポートする生活支援基地を提供



地域密着型
カーライフサポート

車のことは相原と
"地域で信頼される存在"

車検・整備・保険の
ワンストップ窓口

EV充電対応など
次を見据えたサービス

地域の車に関する
あらゆるニーズに応える拠点



分散型エネルギー&
エコライフプラットフォーム

生活インフラの一部として
"地域に必要不可欠な存在"

省エネ設備導入支援&
アフターサポート

太陽光やLPガスなど
ハイブリット供給

持続可能なエネルギー供給と
省エネを支援する拠点



地域コミュニティスポット

地域の暮らしを支える
"まちの頼れる存在"

車やエネルギーの
よろず相談窓口

地域の人々が交流し、
情報を共有する場

地域コミュニティの
中心的な役割を担う拠点

小田原の地域に根差した総合サービス拠点により
地域共生による更なる成長を目指し、地域の持続可能な未来づくりに貢献